

## 平成30年度外国人技能実習機構評議員会議事要旨

- 1 日時 平成30年10月23日(火) 16:00~17:00
- 2 場所 TKP ガーデンシティ品川1階 ダリアの間
- 3 出席者 多賀谷評議員(議長)、上林評議員、野村評議員、内田評議員、川野評議員、奈良評議員、小林評議員、佐久間評議員、酒向評議員
- 4 議事
  - (1) 議長の選出について
  - (2) 外国人技能実習機構評議員会の運営について
  - (3) 議長の職務代理者について
  - (4) 外国人技能実習機構業務の概況について
  - (5) その他
- 5 議事概要
  - (1) 議長に多賀谷評議員が選出された。

このほか、議長の職務代理者の指名、会議の議事運営及び公開の扱いが了承された。
  - (2) 事務局より資料について説明が行われた。
  - (3) 評議員からは、
    - ・ 実地検査を行う際は、事案の内容に応じて、入国管理局や労働基準監督署とも連携していくことが重要である。
    - ・ 国全体の流れとしては、人権侵害事案に対し救済を行っていく方向にあるので、外国人技能実習機構においても、日本司法支援センター「法テラス」との連携を検討していくべきである。
    - ・ 技能実習生の保護に関する外国人技能実習機構の各種取組をより見える形で行っていくべきである。
    - ・ 技能実習1号、2号及び3号の違いはどこにあるか。介護など特定業種も含まれることから、それぞれのレベル感を確認したい。
    - ・ 技能実習1号から2号へ移行する際の技能検定又は技能実習評価試験について、試験制度が輻輳している感がある。全ての職種・作業について整備されているのか。
    - ・ 監理団体の許可に係る調査に関し、過去に不正行為の認定を受けたことがある団体から申請があったときは、どのように対応しているのか。

- ・ 実地検査を行う際は、技能実習生からもヒアリングを行っているか。
- ・ 実地検査で問題となるような事例には、どのようなものがあるか。
- ・ 母国語相談センターに寄せられた重大な事案に対し、機構はどのような対応をしているのか。
- ・ 技能実習生への宿泊支援の状況はどうか。
- ・ 技能実習を終えた技能実習生から相談が寄せられた場合、対応しているか。

等の意見及び質問があり、これに対し、事務局より説明が行われた。